



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞



立春（りっしゅん）とは

春の初めの日。立春から立夏（りっか）の前日までが春。立春の前日は節分（せつぶん）。

和歌（わか）とは

五七五七七の三十一文字で作る歌。「百人一首」も和歌集の一つ。

照宮

咲き始めた寒桜を楽しむ参拝者 4日午前9時20分ごろ、静岡市駿河区根古屋の久能山東照宮

立春 県内暖かな朝 久能山東照宮 寒桜咲き始め

4日は「立春」。前線や低気圧の影響で曇りや雨となった県内は、春を思わせる暖かな朝を迎えた。静岡地方気象台によると各地の最低気温は石廊崎9・2度、静岡7・8度、浜松7・0度、三島5・2度など平年に比べ5度ほど高い3月下旬並みとなった。静岡市駿河区根古屋の久能山東照宮では、境内の寒桜が咲き始めた。一ノ門近くの木は薄紅色の花が二分咲きとなり、参拝者に季節の変わり目を感じさせている。同東照宮によると、1月の寒さの影響で花期が例年より1カ月ほど遅れているものの、ここ数日の暖かさもあり1〜2週間で満開となる見通しという。

2013年2月4日夕刊 中部版

① 写真の桜は、寒い冬に開花します。何と言う桜ですか。

② ^{そで}袖ひじて^{むす}結びし^{みず}水の^{はる た}こほれるを^{かぜ}春立つけふの風やとくらむ

これは、平安時代の紀貫之（きの つらゆき）の和歌です。「夏に袖をぬらしてすくった水が、冬に凍ったのを、立春の今日の風が溶かしているかな」という意味です。あなたも立春の和歌を作ってみましょう。

年 組 名前

(小学校高学年 国語)